

永年の功績を称えて

平成22年4月29日付けで、内科小児科小田医院院長小田稔氏と、前佐呂間町長堀次郎氏が春の叙勲を受章されました。

▼5/25

▼小田 稔 氏 瑞宝双光章
へき地保健衛生功勞

昭和42年1月に33歳の若さで佐呂間町に医師として赴任後、佐呂間町の医療に計45年間の永きにわたり従事され、地域医療及び町民の保健福祉の増進に寄与するとともに、遠軽医師会副会長として、地域の救急医療体制整備に大きく貢献されました。

叙勲は、平成22年5月25日、佐呂間町役場応接室において、原田智史北海道才ホーツク総合振興局保健環境部紋別地域保健室長より小田氏に伝達されました。



▼5/6

堀 次郎 氏 旭日小綬章
地方自治功勞

昭和63年9月から平成20年9月まで、佐呂間町長として連続5期20年の永きにわたり在職し、基幹産業の振興、生活環境の整備、教育、福祉の向上等に尽力され、住民の生活安定と地方自治の伸展に貢献されました。

叙勲は、平成22年5月6日、札幌グランドホテルにおいて高橋はるみ北海道知事より堀氏に伝達されました。



昨年10月から運行開始された、道北ドクターヘリ事業の理解と周知のためのフライトコミュニケーションが、5月14日佐呂間小学校グラウンドにて行なわれました。

フライトコミュニケーションでは、救急車で搬送された患者を治療し、ドクターヘリに搬送するまでが実演されました。コミュニケーション終了後、フライトドクター・フライトナース・パイロットにより、ヘリの装備や、多くの治療が可能なこと、飛行能力について説明がされました。ドクターヘリは、旭川赤十字病院から飛び立つと、時速約200kmで飛行し、約35分で佐呂間町に到着します。

ヘリの離着陸時には、騒音やプロペラからの吹き降ろしの風(ダウンウォッシュ)などで、ご迷惑をおかけすると思いますが、ご協力をお願いいたします。

▼5/14

「空飛ぶ救命治療室」

道北ドクターヘリ
コミュニケーションフライト

まちの話

話題・出来事など皆さんからの情報をお待ちしています。

町民課 住民活動係
TEL 21213

大きく美味しく育て

▼5 / 15 ホタテ稚貝放流作業



5月15日から、ホタテの稚貝放流が行なわれました。港では、1年で最高の繁忙期！カゴいっぱい、の稚貝が勢いよく漁船に積み込まれていきました。稚貝の放流地点に漁船が着くと、素早くカゴに入った稚貝を投げ込み、7,900万粒（佐呂間漁業協同組合）の新たな種がオホーツク海の海底に撒かれました。

ハマナスの元気を取り戻す

▼5 / 11 6年ぶりに野焼き

網走国定公園サロマ湖キムアネツプ岬において、平成16年以来、6年ぶりに野焼きが行なわれました。野焼きで火入れをすることにより、近年目立つ雑草類を一扫し、本来のハマナス群落の活性化、植生維持を図ります。今年のキムアネツプでは、いつもより多くのハマナスが咲くことを願って、町職員が作業を行ないました。



丈夫で健康に育つように

▼5 / 27 町有牧野入牧



5月27日から28日の2日間で、町内6か所の牧野に約700頭の乳牛、肉牛が入牧しました。入牧した若牛は、10月下旬までの約5か月間を、広く斜面のある牧場で元気に走り回って過ごし、足腰を鍛えます。また、牧場の生草を食べることで、内臓も丈夫になり、健康な体で搾乳や繁殖に備えます。

みんなで守る交通ルール

▼各小学校等、交通安全教室

交通ルールや安全な自転車運転の仕方を中心に、交通安全に注意する意識を高めることを目的に、小学校や保育所で交通安全教室が行なわれました。子どもたちは、先生と一緒に実際に通学路で交通ルールの勉強をしたり、信号の見方や道路を横断する時の危険性を学びました。また、寿大学では遠軽警察署の署長による交通安全に関する講話が開かれました。



4 / 28 佐呂間小学校交通安全教室